

学 則

1. 研修の目的

重度訪問介護従業者が行う業務に関する基礎的な知識及び技術、重度の障害者に対する緊急時の対応等に関する知識及び技術、並びに社会福祉士及び介護福祉士法施行規則による基本研修を統合して習得する。

2. 研修の名称

重度訪問介護従業者養成研修（統合課程）

3. 研修の要旨

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修了年限	研修期間	定員	受講料	受講対象者
重度訪問介護従業者養成研修（統合課程）	札幌市	昼間	原則 1ヶ月 ※1	1ヶ月	10名	15,000円(テキスト代含) ※2	・一般の者 ・本法人及びグループ法人職員

※1 やむを得ない理由がある場合は修了年限を2ヶ月とする。

※2 当法人の目的に賛同し、障害者の地域生活を支えるための活動に参加する意思のある者については、法人内で協議した上で受講料を免除する場合がある。

4. 受講手続き

(1) 募集時期

研修開始日の2ヶ月前から募集し、定員になり次第締め切る。

(2) 受講料納入方法

当事業所窓口での現金払い又は指定口座への振込

(3) 受講料返還方法

以下の場合所定の方法により受講料を返還する。ただし事前の連絡がなかった場合や、学則第9条の規程に抵触した場合は返還しないこととする。

ア. 当法人の都合により研修を開講できなかった場合：全額を指定口座に入金する。

イ. 受講料入金後にやむを得ない理由により受講をキャンセルした場合：振込手数料を差し引いた金額を指定口座に入金する。

5. 研修時間数

別紙1参照

6. 研修の免除

別紙2参照

7. 主要テキスト

○ガイドヘルパー研修テキスト～全身性障害編～

ガイドヘルパー技術研究会 監修

○医療的ケア研修テキスト～重症児者の教育・福祉・社会的生活の援助のために～

日本小児神経学会社会活動委員会 北住映二・杉本健郎 編

※別紙3参照

8. 修了認定

(1) 出欠の確認方法

研修開始前に対面により出欠を確認する。またその際、免許証や保険証等の身分証明書の提示により本人確認を行う。やむを得ず欠席する場合は必ず研修開始前に電話等により届け出る事とする。

なお、30分以上遅刻した場合は欠席とする。

やむを得ず欠席をしてしまった場合は、次回開講講習で補講可能とする。

(2) 成績の認定方法

指導担当者の評価と修了前筆記試験（全20問）による。

(3) 修了の認定法

以下の各要件を全て満たした者を研修修了者として認める。

ア. カリキュラムを全て履修し、前項の成績の認定により終了評価基準を満たした者

イ. 修了前筆記試験の正答率が9割を超えた者

ウ. 規定の受講料を納入した者または協議により受講料の免除が確定した者

(4) 修了証明書 別紙4・5

(5) 証明書の再発行

紛失や氏名の変更等の理由により証明書の再発行が必要になった場合は、本事業所に届出をし、免許証や保険証等の身分証明書で本人確認を行った後、再発行する。その際、再発行事務手数料500円を支払うものとする。また、郵送を希望する場合は別途簡易書留料金を支払うものとする。

9. 退学規定

遅刻を繰り返す者、学習態度が著しく悪くカリキュラムの進行を妨げる者、他の受講者の学習を著しく妨げる者に対し、受講を取り消すことが出来る。

10. その他

この学則は令和2年2月1日から施行する。